



すずしろ 22 2023 11 月報

すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴 22 世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

援農状況

10 月の援農集計

	援農時間 (h)	参加人数 (人)	参加延べ人数 (人)	農家数 (軒)	累計援農時間 (h)	累計参加延べ人数 (人)
2023 年 10 月	2,002	66	566	24	19,704	5,478
2022 年 10 月	1,637	64	451	23	18,032	4,955
増減	+365	+2	+115	+1	+1,672	+523

10 月の援農は 2,002 時間となりました。昨年 10 月比で 365 時間の大幅増となり、これは 10 月の援農時間としては、最高時間となります。援農参加者は 66 名、会員の 6 割近くの方に参加頂いており、10 月も「全員援農」の良い状況が続いております。具体的な援農としては、カブ・生姜・大根、里芋、ほうれん草、小松菜等の収穫や出荷作業の他、夏野菜の片付け作業や草取り作業も行なわれました。

いつもの安全援農について、援農作業中に体調不良をおこされた方の報告が上がってきました。幸い大事には至らず、良かったです。寒さが増すにつれ、インフルエンザの感染も増えてきております。これからの季節、朝昼、日ごとの温度変化による寒暖差疲労にも注意が必要となります。気温に即した衣類の着脱を行っていきましょう。また、師走に向かい何かと慌ただしい季節を迎えますが、疲れを明日に残さないことも大切です。「しっかりと食べ」、「入浴でしっかりと体を温め」、「睡眠をしっかりと取る」ことを心掛けて行きましょう。引き続き安全援農へのご協力をよろしくお願い致します。(援農サポータ北尾)



理事会報告

11 月度理事会 (11/16 (木) 17:30~20:30 台町市民センターにて。8 名)

- ① コスモス・たんぼぼ農園の区画整備を終えた。新富所農園の修理を 12 月に行う。
- ② 名簿管理を小西理事、会報の配信を糠信理事が担当する。
- ③ いちよう祭り準備の最終確認。
- ④ 総会準備：議案書印刷・発送・議案書まとめなどの日程を決めた。



「緑白綬有功章」受章おめでとうございます

農家会員の鈴木俊雄様が、公益社団法人「大日本農会」の令和 5 年度緑白綬有功章 (国内で 50 名) を受章され、11 月 15 日の表彰式にて総裁秋篠宮皇嗣殿下よりお言葉をいただきました。表彰事由は、

1. 環境保全型農業の技術と経営を確立するとともに、農地の規模拡大小屋を行い生産安定と所得の向上を実現。また出荷先を複数にすることで、リスクの分散や確実な売り上げを確保。
2. 消費者交流やメディアでの情報発信を積極的に行い、援農ボランティア団体の設立や運営を支援し、農業者と消費者の相互理解を構築。指導農業士として、農業後継者の育成に寄与。とのことです。おめでとうございます。



事務局から

1. 農家さんの留守中、作業場で援農作業していたところに、電力会社関連の業者が、事前に約束してあるからと作業場に入り工事をしていたという事例がありました。帰宅した農家さんがそのことを聞き心配しましたが、さいわい不正工事や詐欺ではありませんでした。①電気工事等を装った詐欺があります。②家の人に伝えてあると言われても業者を勝手に中に入れて、農家さんに連絡して指示を仰いでください。
2. 令和 6 年度通常総会を 2/25 (日) 13 時半よりエスフォルタアリーナで開催します。予定に入れて頂けますようお願いいたします。総会案内や議案書は、メール添付可能な方には、メールで送信させて頂きます。

援農体験記

『援農で健康増進やコミュニティづくりを』 めじろ台 永嶋義隆

昨年から、会員にさせていただき、皆様に大変お世話になっております。主に、小比企町の野菜農家さんに援農に行かせていただいております。農作業をしていると、小鳥のさえずりが聴こえ、風もその日の天候を反映して、様々に語りかけてくれます。広い農地で、太陽のもとで農作業をすることによって、安らぎを覚え、農作業が終わると労働の喜びがあります。実際に農作業をすることによって、健康になり、介護者の症状も軽くなるという研究もおこなわれています。また、国の制度でも子供たちを農村に送って、農作業体験をすることによって、「生きる力」を学ばせようとするプロジェクトもいくつかの省庁の連携で20年近く前から行われています。

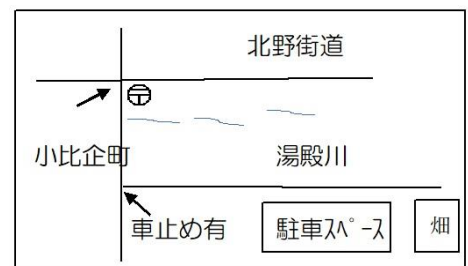
八王子では、そんな力を秘めている農地がすぐ近くにあり、農家さんのご努力によって、農地として守られております。都市にあるこの農地は、従来は、将来公共用地や宅地となる土地としての位置づけでしたが、8年前に都市農業振興基本法ができてから、ガラッとその位置づけが変わり、新鮮な農作物を供給する場、災害時の防災空間、農業体験・学習、交流の場、良好な景観の形成など多面的な機能を発揮する場として位置づけられました。

実際にすすしろ22の活動を通じて、コミュニティの仲間ができて、生きがいを感じてもらえる方もたくさんいらっしゃるのではないでしょうか。こういう都市住民に対して様々な機能を発揮して、我々の生活に役立っている農地を守っていただいている農家さんは、労働力不足等様々な課題をお持ちです。こういう農家さんの労働力不足を、都市住民の方々が、様々な動機で援農という手段で解決することを支援されているのがすすしろ22の活動の一つではないかと思えます。農家さんと都市住民の方々がウインウインの関係になるように素晴らしい活動をしていただいていることに感謝申し上げます。



イベントのお知らせ

- ① **自然薯試食会(安留農園主催)**・・・無料 初参加の方を歓迎
日時：12/18(月)9:00~12:00 横山南市民センター調理室にて。先着20名
- ② **栽培研修会**・・・初めて自然薯栽培に取り組まれる方 対象
日時：12/18(月)13:00~16:00
- ③ **収穫即売会**・・・自然薯栽培現場をご紹介。『栽培セット』の注文も承ります。
日時：12/25(月)13:00~16:00(雨天時12/28(木)同時刻) 先着20組
価格：250円/100g(1本500~1kg程度)
先着20組、駐車場20台
- ④ **技術交流会** 1/14(日)13:00~16:00
参加費①：無料
②③④：会員無料、会員外・小学生以上100円
場所②③④：小比企町 湯殿川沿い■安留農園
申込締切り①②③：12/4(水)
申込：合津まで highz.1994383@gmail.com 予約メール 080-1351-4860



イベント報告

- ① 9/30(土)NPO フェスティバルに出店しました。
- ② 11/18(土)、19(日)『八王子いちよう祭り わくわく広場』に出店しました。①②とも、無事に完売できました。農家さんには、野菜の提供に臨機応変に対応して頂き、スタッフのみなさんには野菜の販売とすすしろ22のPRをして頂きました。お客様には援農に興味をもってくださったり、話を聞いてくださった方も大勢いらっしゃいました。援農でお世話になっている農家さんの野菜を買い喜んでくださる姿を見て、すごく嬉しく、ありがたかったです。お一人でも入会していただければと思います。ご協力頂いたみなさま、ありがとうございました。(糠信)

